



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 東
 コード番号 6932 URL https://www.endo-lighting.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 飯島 孝 (TEL) 06-6267-7095
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	15,557	△17.5	439	△57.2	600	△37.7	360	△48.6
2020年3月期第2四半期	18,860	△3.7	1,027	△15.3	965	△31.6	699	△34.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △303百万円(-%) 2020年3月期第2四半期 △75百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	24.37	—
2020年3月期第2四半期	47.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	49,445	21,785	44.0
2020年3月期	50,250	22,310	44.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 21,780百万円 2020年3月期 22,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	7.50			
2021年3月期(予想)			—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	△19.6	350	△86.2	450	△82.4	50	△97.4	3.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	14,776,321株	2020年3月期	14,776,321株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	95株	2020年3月期	95株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	14,776,226株	2020年3月期2Q	14,776,226株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料については、2020年11月13日(金)に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに対応する企業活動の自粛や緊急事態宣言の発出により、急速な悪化が続く厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は、緩やかに経済活動が再開しつつありますが、依然として予断を許さない状況が続いております。

また、世界経済においても、一部に回復の兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響によって経済活動は低迷しており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、高付加価値空間創造企業として、高い省エネ性能に加え、顧客価値を創造する光の質を高めた新製品の開発、製造及び販売に注力して参りました。また、製造部門において継続した品質改善活動及び原価低減活動を行うとともに全社的な販売費及び一般管理費の抑制に努めて参りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、15,557百万円（前年同四半期比17.5%の減収）となり、営業利益は439百万円（前年同四半期比57.2%の減益）となりました。そして、営業外収益において、主に為替先物予約契約の実行に伴う為替差益が発生したことにより、経常利益は600百万円（前年同四半期比37.7%の減益）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は360百万円（前年同四半期比48.6%の減益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

a. 照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、国内主要都市のショールームを活用し積極的な販売活動を展開することで、業務用LED照明器具分野における高いブランドイメージの確立に努めました。

国内市場においては、「LEDZ Pro. 4」カタログを発刊し、無線照明コントロールシステム「Smart LEDZ Fit/Fit Plus」及び無線調光調色器具「Tunable LEDZ」の販売促進に注力し、既存照明器具の取り換え需要に加えて、新設の商業施設やオフィス等の大型施設向け需要の取込を目指して積極的に営業活動を推進しました。また、自然の光、カラー演出、色味調整の三役を1台で備えた次世代無線調光調色器具シリーズ「Synca」を6月に発表し、更なる価値提案を進めました。

海外市場においては、深刻な都市封鎖の影響を受けて経済活動の停滞が発生する中、リモート営業を強化いたしました。

しかし、他方で新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う新規投資の停止及び工事遅延の影響を受けたこともあり、売上高は13,034百万円（前年同四半期比19.4%の減収）（セグメント間取引含む。以下同じ。）となり、セグメント利益（営業利益。以下同じ。）は609百万円（前年同四半期比54.8%の減益）となりました。

b. 環境関連事業

当セグメントにおきましては、消費電力削減だけでなく快適な空間づくりについての総合的な提案活動を強化し、食品スーパーを始めとする流通店舗を中心に販売活動を展開しました。当社グループの提供する消費電力削減効果の高い高効率LED照明器具及び顧客の商品・サービスにあわせた空間づくりが可能な制御機器が高い評価を得てレンタル契約実績及び機器販売実績ともに対前年同四半期比で増加いたしました。

この結果、売上高は3,546百万円（前年同四半期比1.0%の増収）となり、セグメント利益は277百万円（前年同四半期比39.9%の増益）となりました。

c. インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、新総合カタログである「AbitaStyle 11」を発刊し、建築士やインテリアデザイナー等に配布し積極的な販売促進活動を展開しました。加えて、家具と照明器具を合わせた販売促進活動を強化し、オフィスなどの新規市場の開拓に注力しました。また、更なるコストダウン、徹底的な物流合理化を推進し採算性の向上に努めました。

この結果、売上高は590百万円（前年同四半期比38.2%の減収）となり、セグメント損失は27百万円（前年同四半期は27百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、49,445百万円(前連結会計年度末比805百万円の減少)となりました。

主な要因は、「現金及び預金」の増加1,368百万円、「受取手形及び売掛金」の減少1,136百万円、「有形固定資産」の減少387百万円及び「無形固定資産」の減少182百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、27,660百万円(前連結会計年度末比279百万円の減少)となりました。

主な要因は、「有利子負債」の増加450百万円、「支払手形及び買掛金」の減少430百万円、「賞与引当金」の減少175百万円及び「製品保証引当金」の減少10百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、21,785百万円(前連結会計年度末比525百万円の減少)となりました。

主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上360百万円、「配当金の支払い」による減少221百万円、「繰延ヘッジ損益」の減少164百万円及び「為替換算調整勘定」の減少548百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、9,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,201百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの増加は、2,567百万円(前年同四半期は2,218百万円の増加)となりました。

主な要因は、「減価償却費」1,559百万円及び「売上債権の減少」1,063百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの減少は、1,380百万円(前年同四半期は988百万円の減少)となりました。

主な要因は、「有形固定資産の取得による支出」1,178百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの増加は、218百万円(前年同四半期は2,490百万円の減少)となりました。

主な要因は、増加要因として「長期借入れによる収入」3,300百万円、減少要因として「短期借入金の純増減額」99百万円、「リース債務の返済による支出」94百万円、「長期借入金の返済による支出」2,613百万円及び「配当金の支払額」222百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を合理的に算出することが困難なことから未定としておりましたが、第2四半期までの動向を踏まえ、現時点の事業環境や入手可能な情報に基づき算定いたしました。

なお、当業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれます。業績の実績は、今後の様々な要因の変化により、当業績予想と乖離する可能性があります。予想の修正が必要な場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,797	10,166
受取手形及び売掛金	6,250	5,113
商品及び製品	8,595	9,058
仕掛品	188	136
原材料及び貯蔵品	1,193	969
その他	2,428	1,709
貸倒引当金	△112	△163
流動資産合計	27,341	26,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,980	8,894
減価償却累計額	△3,891	△4,015
建物及び構築物(純額)	5,089	4,879
機械装置及び運搬具	2,877	2,915
減価償却累計額	△2,363	△2,410
機械装置及び運搬具(純額)	513	504
レンタル資産	13,798	14,211
減価償却累計額	△7,358	△7,900
レンタル資産(純額)	6,439	6,311
土地	3,498	3,496
リース資産	963	970
減価償却累計額	△573	△628
リース資産(純額)	390	342
建設仮勘定	471	472
その他	3,107	3,147
減価償却累計額	△2,677	△2,708
その他(純額)	429	438
有形固定資産合計	16,832	16,444
無形固定資産		
ソフトウェア	342	361
のれん	2,633	2,443
その他	87	77
無形固定資産合計	3,064	2,881
投資その他の資産		
投資有価証券	153	177
関係会社株式	21	21
退職給付に係る資産	22	46
繰延税金資産	938	1,020
その他	1,957	1,943
貸倒引当金	△81	△81
投資その他の資産合計	3,012	3,126
固定資産合計	22,909	22,453
資産合計	50,250	49,445

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,655	2,225
短期借入金	3,250	3,150
1年内償還予定の社債	70	—
1年内返済予定の長期借入金	4,910	5,032
リース債務	179	187
未払法人税等	486	375
賞与引当金	402	227
役員賞与引当金	79	23
製品保証引当金	570	559
その他	1,542	1,764
流動負債合計	14,148	13,546
固定負債		
長期借入金	11,107	11,671
リース債務	348	274
繰延税金負債	902	790
役員退職慰労引当金	412	409
退職給付に係る負債	170	183
その他	851	783
固定負債合計	13,791	14,113
負債合計	27,940	27,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,155	5,155
資本剰余金	5,539	5,539
利益剰余金	11,848	11,987
自己株式	△0	△0
株主資本合計	22,543	22,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	40
繰延ヘッジ損益	176	12
為替換算調整勘定	△344	△893
退職給付に係る調整累計額	△74	△60
その他の包括利益累計額合計	△238	△901
非支配株主持分	5	5
純資産合計	22,310	21,785
負債純資産合計	50,250	49,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	18,860	15,557
売上原価	12,003	9,804
売上総利益	6,856	5,753
販売費及び一般管理費	5,829	5,313
営業利益	1,027	439
営業外収益		
受取利息及び配当金	46	57
受取賃貸料	49	54
為替差益	1	131
その他	48	101
営業外収益合計	145	345
営業外費用		
支払利息	78	70
売上割引	84	69
その他	44	44
営業外費用合計	207	184
経常利益	965	600
特別利益		
固定資産売却益	0	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
投資有価証券評価損	—	26
特別損失合計	—	26
税金等調整前四半期純利益	965	580
法人税、住民税及び事業税	338	362
法人税等調整額	△72	△141
法人税等合計	265	220
四半期純利益	699	359
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	699	360

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	699	359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	36
繰延ヘッジ損益	59	△164
為替換算調整勘定	△832	△548
退職給付に係る調整額	0	13
その他の包括利益合計	△775	△663
四半期包括利益	△75	△303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△75	△303
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	965	580
減価償却費	1,566	1,559
のれん償却額	88	84
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	53
賞与引当金の増減額(△は減少)	△60	△167
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△76	△10
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△56	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13	35
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△23	△23
受取利息及び受取配当金	△46	△57
支払利息	78	70
固定資産売却損益(△は益)	△0	△6
売上債権の増減額(△は増加)	53	1,063
たな卸資産の増減額(△は増加)	△982	△285
仕入債務の増減額(△は減少)	455	△390
未払金の増減額(△は減少)	△107	175
その他	492	354
小計	2,351	3,032
利息及び配当金の受取額	46	57
利息の支払額	△81	△66
法人税等の支払額	△99	△456
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,218	2,567
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△988	△1,178
有形固定資産の売却による収入	0	33
無形固定資産の取得による支出	△106	△86
定期預金の預入による支出	—	△169
その他	105	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△988	△1,380
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△550	△99
長期借入れによる収入	1,300	3,300
長期借入金の返済による支出	△2,918	△2,613
社債の償還による支出	△70	△70
セール・アンド・リースバックによる収入	80	19
リース債務の返済による支出	△110	△94
配当金の支払額	△222	△222
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,490	218
現金及び現金同等物に係る換算差額	△350	△202
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,610	1,201
現金及び現金同等物の期首残高	10,416	8,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,806	9,999

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	14,419	3,484	955	18,860	18,860
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,754	28	—	1,782	1,782
計	16,173	3,512	955	20,642	20,642
セグメント利益	1,348	198	27	1,574	1,574

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,574
セグメント間取引消去	30
未実現利益の調整額	27
全社費用(注)	△605
四半期連結損益計算書の営業利益	1,027

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	11,439	3,526	590	15,557	15,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,594	19	—	1,614	1,614
計	13,034	3,546	590	17,172	17,172
セグメント利益又は損失(△)	609	277	△27	859	859

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	859
セグメント間取引消去	33
未実現利益の調整額	32
全社費用(注)	△485
四半期連結損益計算書の営業利益	439

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。